

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容によっては狭いと感じることもあるが、概ね適切だと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		保育士以外は全員リハ専門職であり、人数的にも十分確保できている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		事業所がある施設は、障がい者にも配慮しバリアフリー化されている。構造化や視覚支援などを活用し、一人ひとりのお子さんの特性に応じて、柔軟に対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		施設は無垢材と漆喰でできており、温かみのある雰囲気となっている。掲示物を最小限にし、視覚刺激が入りやすいお子さんには、パーティションなどで刺激を減らし、まずは情緒の安定が図れるような環境調整を行い、療育に取り組めるように配慮している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		ミーティング時に、課題の改善に向けて検討をしている。新しい仕組みづくりや、療育の質の向上に向けては、特に職員が積極的に意見を出し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	今回は初年度であり、自己評価と結果の公開はしているが、改善内容の公表はできていない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は行っていないが、外部の特任講師2名に毎月お越しいただき、療育方法や保護者支援等について助言をいただきながらサービスの向上に努めている。
適	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		積極的に外部研修へ参加している。また、全職員がティーチャーズトレーニングを受講するようにしている。施設内では、動画視聴による研修受講がいつでもできる仕組みになっている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		施設内では、OT、PT、保育士によるアセスメントを行なっている。また、保育所からのアンケートや同法人である もみのき病院で実施した検査結果もふまえ児童発達支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		

切 な 支 援 の 提 供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		関わる全ての職員で、現状の確認やプログラムの検討を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		計画に沿った目的やねらいを毎回確認し、お子さんが毎回意欲的に取り組めるよう一人一人に合った内容に工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		基本的には個別活動で計画している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		対応しているスタッフ同士で、子どもの情報共有を行っている。療育場面をビデオに撮影し、後日、動画を確認しながら意見交換をしている。専門性が違うそれぞれの視点を共有し、支援の質の向上に努めている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		計画の変更が必要な状況であれば、見直しの時期でなくても会議を開催し、計画の見直しをしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				医療的ケアが必要な子どもの利用がない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				医療的ケアが必要な子どもの利用がない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	○		移行支援が必要な利用者がまだいないため行わなかったが、必要であれば実施していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	○		移行支援が必要な利用者がまだいないため行わなかったが、必要であれば実施していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	○		利用者自身は、普段は保育所や認定こども園、幼稚園等に在籍している。当施設の利用（療育）中には、交流の機会はない。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		療育は保護者も一緒に参加しているため、発達の状況や活動の意図、関わり方などを説明しながらすすめている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	来年度は、ペアレントトレーニングを実施したい。ペアトレの手法は療育中に行って見せ、保護者へもその場で説明するようにしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		事業所内相談支援や、日々の通所時に相談対応できるようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	必要時に対応しており、定期的ではない。来年度は実施したいと考えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		お子さんに対しては、言語聴覚士の評価をもとに、意思疎通や情報伝達に必要な配慮をしている。保護者に対しても、実際の場面で説明する、写真や絵で見せる、文字で示すなど、理解しやすい方法を選んで対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		<input type="radio"/>	感染対策のため、現在は行っていない。同じ施設内で子ども食堂を行っており、利用することができる環境にある。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		医療機関との連携にて対応している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現在、該当者はいないが、確認をしている。利用中に飲食をする機会がない。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		身体拘束を行なった事例は発生していないが、仕組みは整備し、周知している。